



2022年9月13日

株式会社 阿波銀行

株式会社ハヤシセーラの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ハヤシセーラ（代表取締役 林 秀樹、本社：大阪府東大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社ハヤシセーラ
所在地	大阪府東大阪市中石切町七丁目 4 番 52 号
代表者	林 秀樹
業種	自動車部品等製造業
設立	1959 年 6 月 12 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年9月13日



株式会社ハヤシセーラ 代表取締役 林 秀樹

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	ハラスメントの禁止	社内におけるあらゆるハラスメントの防止の活動を行い、社員がのびのびと働ける職場環境の整備に努めます。	① (1)行動指針の策定 (2)社内教育やパンフレット配布等による周知		
			② (1)2023年度までに行動指針を策定し、ホームページで開示 (2)年1回の研修実施		
社会・経済	働きがい	社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	① (1)資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備 (2)業績上位者への表彰制度の導入		
			② (1)2023年度までに導入 (2)2024年度までに導入		
社会・経済	シニア人材の活用	地域の宇高齢者が生き生きと暮らせるように、高齢者が定年を超えても継続して働ける機会を創出します。	① (1)高齢者の再雇用制度を就業規則にて制定 (2)シニア人材の専門性・技術/ノウハウの継承		
			② (1)2023年度までに規程・方針を見直し、全社員へ通知 (2)年1回実績報告会を開催		
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人一人に浸透するよう、主体的に努めます。	① (1)経営理念のHP上での公開 (2)経営理念に基づく個人目標の設定		
			② (1)2023年度までに公開 (2)2025年度までに実施		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。